

平成27年度 春日小学校 グランドデザイン

確かな学び

- ・「授業第一主義」に徹し、子どもたちが確かな学力を身に付け、学ぶ楽しさや分かる喜びを感じ得る授業を工夫します。
- ・「ひと、もの、こと」とのかかわりを通して、子どもが思いや考えを深め、進んで表現することができるような授業を目指します。
- ・地域人財からの積極的な協力と支援を得て、生活科やのびやか活動を中心とする体験的な学習を充実させます。
- ・家庭と連携し、子どもが望ましい学習習慣を身に付けるようにします。



期待する成果

- ・「授業が分かる」「授業が楽しい」と自己評価する子どもが90%以上になる。
- ・思いや考えを伝え合う中で、「自分の考えが深まった」と自己評価する子どもが80%以上になる。
- ・「子どもは家庭でルールを決めて学習している」と自己評価する保護者が70%以上になる。

豊かな心

- ・SSE(社会生活技能教育)や学級・学年、かけはし(異年齢集団)などの活動を通し、よりよいかかわり方を身に付けるとともに、活動の振り返りを工夫して、達成感を味わえるようにします。
- ・子どもの実態を踏まえた人権教育・同和教育を推進し、いじめ見逃しゼロを進めます。
- ・ルールやマナーの大切さについて考えさせ、守ろうとする態度を育てます。
- ・保護者や地域の方と共にあいさつ運動を進めます。



期待する成果

- <全ての子どもが次のような姿を目指します。>
- ・温かい人間関係を築こうとする。
- ・だれにでもさわやかなあいさつをする。

健やかな体

- ・自分の健康や体力を振り返らせ、体力テストの結果を生かした授業づくりや体力イベントを実施します。
- ・児童会や学級・学年で、ドッジボール、大縄などの集団遊びを実施し、進んで運動する意欲を高めます。
- ・地域人財からの協力と支援を得て、メディア依存や生活習慣を改善する取組を進め、保護者と一緒に生活を見直して、規則正しい生活習慣を身に付けるようにします。



期待する成果

- ・体力テストの結果で、全国平均以上の子どもが、全校で80%を超える。
- ・アンケートで、「体を動かすことが好きだ」と答える子どもが90%以上になる。
- ・生活習慣に関するアンケートで、肯定的に自己評価をする子どもが90%以上になる。

教育目標

やさしく かしく たくましく

重点目標

響き合い高め合う子どもの育成

中心課題 社会性をはぐくむ

自己有用感・人間関係づくり・規範意識・集団活動

求める子どもの姿

自分を見つめ、豊かにかかわり合う子ども

学校

家庭

地域

「コミュニティ・スクール」である学校と共に子どもを育てる地域

学校

連携協議

学校運営協議会

春日小学校支援本部

地域と結ぶ絆の輪

町内会長会

・地域生活支援
(交通安全、
あいさつ運動)

後援会

・経済的支援
・教育活動支援
・周年事業支援

PTA

・学校行事支援
・学年行事
・部会活動
・父親応援団

各町内
子ども会

・地域行事

その他の
地域団体

・上越教育大学
学生ボランティア 等

地域学校支援
ボランティア A

・授業支援
・クラブ講師
・図書館支援
・課外活動指導支援

地域学校支援
ボランティア B

・校舎内外環境整備
・登下校等地域安全
・休憩時間の見回り

民生委員

・地域の情報収集
・情報連携

春日地域青少年育成会議

・地域安全 ・地域健全育成 ・地域行事 ・地域の人財開発

学校経営方針

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

謙信公スピリッツ
地域に誇りをもち、
生き生きと学ぶ子ども

～地域の願い～

- ・さわやかなあいさつができる子どもになってほしい。
- ・社会で生きていくための基礎的な学力を身に付けてほしい。
- ・自分から進んで物事に取り組む主体性や積極性を身に付けてほしい。
- ・いじめを「しない」「させない」「許さない」感性を身に付けてほしい。
- ・だれとでも仲良く過ごせる子ども、思いやる気持ちをもった優しい子どもに育てほしい。
- ・地域を大切にしながらも、日本そして世界に目を向ける子どもに育てほしい。

～2013.2.22

学校運営協議会アピール～

私たち、地域の大人は、

- 子どもたちが学ぶ学習環境を整える。
- 子どもたちの地域での体験学習を支える。
- 協働・連携を深め、子どもたちの健全な成長を支援する。
- 登下校や地域での子どもの安心・安全を支える。
- 率先してあいさつをするなど、子どもたちの模範となる大人の姿を示す。

春日小学校マスコットキャラクター
「カスミン」

